

- * 院内スタッフ、院外関係機関は、お子様とご家族の方とともに、

さまざまな状況確認や検討を行っていきます。

* ご不安なことや、心配なこと疑問点等があれば、いつでもご相談ください。
- * 各ステップごとに、院内外の関係者で集まり、

関係職種間で情報収集・提供、意思統一を行います。

* 退院前にはご家族の方に参加していただく可能性もあります。
- * お子様とご家族の状況によって、このパスシートの内容は

変わります。現在の進行状況を知る、ロードマップとして、

ご家族で項目を追加したり、削除したりしながら、活用してください。

	STEP1 在宅医療の検討・決定	STEP2 課題の抽出	STEP3 外泊準備期	STEP4 外 泊 期	STEP5 退院準備期	STEP6 退 院 期	STEP7 在 宅 生 活
	ご自宅での生活について考えてみましょう。 	お子様がご自宅で生活するには、何が必要ですか。スタッフと一緒に考えてみましょう。 	退院までで一番忙しい時期です。焦らず、一歩ずつ進んでいきましょう。 	外泊をして、退院後の生活について具体的に考えてみましょう 	 課題があれば、出来る限り、退院までに解決しておきましょう。	 退院おめでとう!! 	ご自宅での生活が始まると、想像以上に困ったことや不安なことがあります。いつでも相談してください。 
ご家族	☐ 退院の可能性について説明を聞く ☐ 小児在宅医療移行地域連携パスの説明を聞く 理解できれば、同意書にサイン ☐ （各担当者と面談）	☐ お子様のケアに参加 ☐ 各担当者と適宜面談 ☐ 現段階で考えられる、退院後の生活の課題・問題点を明らかにする	☐ STEP2 で明らかにした課題・問題点を解決していく ☐ お子様の体調や、症状を把握できるようになる ☐ ケアを習得する ☐ 各種申請等をおこなう ☐ 在宅サービスについて検討	☐ ファミリールーム、自宅での外泊を実施 ☐ ケアの実施 ☐ 必要時、関係機関へ連絡 ☐ 自宅での外泊中、緊急時、不安点を病院へ連絡	☐ 外泊時の不安や、疑問の解決 ☐ 緊急時の対応・連絡先を確認 ☐ 在宅物品の入手方法の確認 ☐ 機器のメンテナンスの確認	☐ お子様の状態や様子を把握 ☐ 安全に退院 ☐ 次回外来の確認	☐ 外来受診 ☐ 退院後の生活での不安、疑問等を相談 ☐ 緊急時の対応
院内スタッフ	☐ 退院の可否について院内で検討 ☐ 退院の可能性についてご家族に説明 ☐ 小児在宅医療移行地域連携パスの説明 ☐ 退院後のイメージ等を確認 ☐ （ご家族と面談）	☐ ご家族に覚えていただくケアについて説明 ☐ 適宜、退院に向けて、ご家族と面談、お子様と面会（各職種） ☐ 福祉サービスの情報提供 ☐ 院外の関係機関に連絡	☐ 引き続き、ケアについて説明 ☐ 外泊時や緊急時の対応について説明 ☐ 必要機器のレンタル、購入状況を確認 ☐ 引き続き、院外関係機関と連絡調整 ☐ <u>外泊前に家庭訪問を実施</u>	☐ 院外関係機関へ外泊の連絡 ☐ ご家族からの電話に応需	☐ 院外関係機関への紹介状および、情報提供書の作成 ☐ 外泊時の様子の聞き取り ☐ ご家族の不安、疑問の解決	☐ 外来スタッフへの引き継ぎ ☐ 院外関係機関に退院日の連絡 ☐ 在宅物品を渡す	☐ 外来診察 ☐ ご自宅での、お子様の様子やご家族の方の健康状態等伺う
保健所		☐ 院内保健師より、お子様に関する情報提供を受ける	☐ （お子様）ご家族と面談 ☐ 社会資源の情報提供 ☐ 院内スタッフと共に、家庭訪問	☐ 外泊時、ご自宅へ訪問 ☐ 災害時基本情報シートの確認	☐ 外泊時の様子の聞き取り		☐ 退院後 1 ヶ月以内にご自宅へ訪問 ☐ お子様の病状、発達・発育を確認
訪問看護			☐ 具体的な利用内容についてご家族と相談	☐ 外泊時、ご自宅へ訪問			☐ ご家族の希望に沿って訪問 ☐ 定期的に主治医に訪問報告
在宅医 地域医療機関				☐ 主治医より、紹介を受ける		☐ 診療情報提供書を受け取る	☐ 診察、予防接種等
その他 院外関係機関							

→

→退院後の介護ケアのサポートをします。原則として、利用には手帳の申請が必要です。

1. 外泊に向けて チェックしていきましょう

□ ケアに関する事・外出、外泊に関する事 — 担当：病棟看護師

- 病棟で行われている日常的ケアを実施していく
出来るようになった(/ /)
- 病棟で行われている医療的ケアを実施していく
出来るようになった(/ /)



ケア習得の詳細については、
各病棟のケアシートで確認
しましょう。

- ファミリールームの利用、外泊についての説明を聞いた (/ /)

□ お金に関する事 — 担当：ケースワーカー

- 医療費や手当、福祉制度に関する情報収集をした
(/ /)

申請するもの【申請したら✓、結果が届けば■】



早めの申請をお勧めします

- | | |
|----------------------|---|
| □ 特別児童扶養手当 | □ |
| □ 特定疾患受給者証 | □ |
| □ 障がい者手帳 (身体 ・ 療育) | □ |

□ サポート機関に関する事 — 担当：ケースワーカー、在宅医療支援室

- 退院後に利用できるサポート機関に関する情報収集をした
(/ /)

利用したいもの【利用を希望するものに✓、利用が決定すれば■】

- | | |
|----------|----------|
| □ 役所障がい課 | □ 往診医 |
| □ 保健所 | □ 訪問看護 |
| □ | □ ホームヘルプ |
| □ | □ |

□ 物品、医療機器、その他装具等に関する事 — ケースワーカー、在宅医療支援室

- ケアに必要な消耗物品に関する説明を聞いた
(/ /)



必要物品リストに記入
しましょう

- 必要な医療機器の説明を聞いた(/ /)
準備するもの【準備するものに✓、準備ができれば■】

- | | |
|--------|---|
| □ 吸引器 | □ |
| □ 吸入器 | □ |
| □ 在宅酸素 | □ |

- その他在宅で必要なものの説明を聞いた(/ /)
準備するもの【準備するものに✓、準備ができれば■】

- | | |
|------------|---|
| □ バギー(車いす) | □ |
| □ ベッド | □ |
| □ | □ |

その他

- ☐ ご両親へのサポート者は居ますか
⇒父方祖父母・母方祖父母・両親の兄弟姉妹・その他（ ）
- ☐ 移動の手段は確認できていますか
⇒自家用車・介護タクシー・公共交通機関・その他（ ）
- ☐ 緊急時の対応や連絡先を確認できていますか

自宅のすぐ目につく場所に控えておいてください

2-1. ファミリールームへ宿泊する

・ 年 月 日
・ 年 月 日

ご家族で、話し合って決めて下さい。
具体的な日程が決まれば、保健所や訪問看護、その他のサ
ポート機関にお知らせしておきましょう

2-2. 外泊



・ 年 月 日 ~ 年 月 日 (自宅・その他)
・ 年 月 日 ~ 年 月 日 (自宅・その他)
・ 年 月 日 ~ 年 月 日 (自宅・その他)

外泊中は無理をせず、不安な時や、困った時は気軽
に病院に連絡をしてください。



外泊はどうでしたか？
退院までに外泊中の不安点や疑問点などを
解決しておきましょう。

3. 外泊中の不安点や疑問点を解決できた

・ 年 月 日

4. 具体的な退院日が決定した

・ 年 月 日



ご家族で、話し合って決めて下さい。
退院日が決まれば、保健所や訪問看護、その他の
サポート機関にお知らせしておきましょう

5. 初回外来

・ 年 月 日